

- ・では、聖書は「なぜ」雲の中を歩む人生は幸いであるかを学びましょう。

3点

大切なポイント

1. 雲の中に「保証」がある

12:1 こういうわけで、このように多くの証人たちが、雲のように私たちを取り巻いているのですから、私たちも、一切の重荷とまとわりつく罪を捨てて、自分の前に置かれている競走を、忍耐をもって走り続けようではありませんか。

1) 雲の柱

- ・昔、昔、紀元前のお話しです。イスラエルの民は、今の中東の荒野を旅していました。彼らが向かった地は、神が先祖に約束された地です。そこは「カナン」（乳と蜜の流れる地）と呼ばれる実り豊かな地でした。現在のイスラエルです。
- ・その時、生ける神は、昼は「雲の柱」によって、夜は「火の柱」によって先導されました。しかし雲の中には、神がおられました。（臨在という。）神は生きておられ、イスラエルの民を先導されました。その記録が私たちが手にしている旧約聖書に記されています。
- ・イスラエルの民は、指導者（例えばモーセ）によって、神の守りを受けつつ、神の祝福を味わう経験をしました。神と共に歩んだ旅路では、祝福を受けた証人がいました。そこには神のお守りがありました。そして彼らは約束の地へ入ることができました。それがイスラエルの歴史です（旧約聖書）。

2) 神は民を先導される

- ・聖書の神は、昔も今も変わらなく、生きておられる（臨在されるお方）方です。聖書の神は生きておられ、実在される神です。ですから、その神を信頼することは、生ける神を経験することでもあります。
- ・かつて神がイスラエルの民を荒野から、約束の地へ先導されたように、今も私たちを先導してください。イエスは言われました。ヨハネ福音書 10:14 わたしは良い牧者です。わたしはわたしのものを知っており、わたしのものは、わたしを知っています。

聖書はイエスとイエスを信じる者との関係を、このように記しています。

- ・良い牧者は、次のように言われました。
10:11 わたしは良い牧者です。良い牧者は羊のためにいのちを捨てます。ここに本物の牧者、すなわち羊（迷いやすい私たち）のために、いのちを捨てるほどの愛を持つ良い牧者がおられます。イエス・キリストです。

- ・この愛の牧者であるイエス・キリストによって、助けられた証人が雲のように、私たちを取り巻いていると記されています。なんとという幸いではありませんか。そこには真の保証があります。

2. 勇気を得ることができる

12:2 信仰の創始者であり完成者であるイエスから、目を離さないでいなさい。この方は、ご自分の前に置かれた喜びのために、辱めをものともせず十字架を忍び、神の御座の右に着座されたのです。

1) 人生の目標

- ・人生の旅路を続ける中で大切なことは、目標から目を離さないことです。もし目標から目を離すことがあれば、目標を見失ってしまう恐れがあります。これは人生の旅路を進める中で、非常に大切なことです。
 - ・聖書は「**信仰の創始者であり完成者であるイエスから、目を離さないでいなさい。**」と教えています。聖書はイエスどのようなお方が教えています。
- ① 信仰の創始者 (はじまり)
- 私たちが神を信じ歩む者として、お手本として、私たちの前に完全な信仰を示して下さいました。イエスは信仰の創始者です。
- ② 信仰の完成者 (目 標)
- 信仰の完成者とは、信仰の道を完了したお方です。すなわち、イバラの道を歩むような30数年という旅路を、確かに完了されたお方です。その最高の頂きは十字架で実現しました。
- ・そして、このイエスは「**ご自分の前に置かれた喜びのために、辱めをものともせず十字架を忍び、神の御座の右に着座されたのです。**」と教えています。

2) 人生の勝利者

③ 辱めの下で、十字架を忍ばれた

- ・罪を知らないお方が、罪人とされ、十字架上で処刑されました。そして聖い御血を流して下さいました。それは罪ある者が、罪赦されて神前に出ることができるようになるためでした。1ヨハネ1:9
- 1:9 もし私たちが自分の罪を告白するなら、神は真実で正しい方です、その罪を赦し、私たちをすべての不義からきよめてくださいます。

④ 神の御座の右に着座された (救いの完了) ➡ 勝 利

- ・イエスは信仰の完成者として、神の御座の右に着座されました。

座席順で右は最高位を示します。イエスは最高の勝利者です。

*イエスはこのように「信仰のはじまり」であり、「信仰に完成者」ですから、勝利者の目標として仰ぐことができます。

- ・ヘブル人への手紙の著者は、イエスは目の前にある喜びのゆえに、「辱めをものともせずに十字架を忍んだ」、と記しました。なんとということでしょうか。

3. 生きる力を得られる

12:3 あなたがたは、罪人たちの、ご自分に対するこのような反抗を耐え忍ばれた方のことを考えなさい。あなたがたの心が元気を失い、疲れ果ててしまわないようにするためです。"

- ・雲の中に保証があり、そこで勇気が与えられと、私たちは生きる力を得ることができます。ここにイエス・キリストを「み

『例話』

- ・何年も前、中国で起こった実話です。
盗賊が、ある村を襲撃しようとして近くまで来ているという報告がありました。その村では、クリスチャンはたった一軒のワン（王）家だけでした。彼らも危険が迫ってきた時、神に祈りました。
- ・夕方の祈りの時間の時でした。マタイ福音書17章20節を読みました。そこには「もし、からし種ほどの信仰があったら。この山に、『ここからあそこに移れ。』と言え、移るのです。どんなことでも、あなたがたにできないことはありません。」とありました。
- ・神に絶対的信頼を置いていた王ファミリーは、「主よ。我が家の入り口も前に山を築いてください。そうすれば、私たちは強盗に見つかることはないでしょう。」と祈り始めました。
- ・夜になると、雪が降り始めました。その日の夜中、雪は止む事なく降り続けました。なんと雪は吹き流されて積もり、王家の入り口を隠してしまいました。
- ・次の朝、盗賊が来ました。村中の家は略奪されました。ただ王ファミリーの家だけ一軒は、略奪を免れました。盗賊が去った後、近所の人々が王家の前の雪を取り除きました。彼らが家に入ると、王さんは危険が迫って下さった神について証しました。

(これは OMF : Overseas Mission Fellowship のトラクトから)

ま と め

主 題：「人生は雲の中である」

—神を信頼する—

- ・ 「人生は雲の中である」 ➡ まさしく、そうですね。
先が見えず見通しが悪い「曇り日」です。しかし聖書はその雲の中には、力強く生きた神の証人がいると教えています。
- 12:1 こういうわけで、このように多くの証人たちが、雲のように私たちを取り巻いているのですから、私たちも、一切の重荷とまとわりつく罪を捨てて、自分の前に置かれている競走を、忍耐をもって走り続けようではありませんか。

ヘブル

- ・ 雲に囲まれて歩む人生は幸いです。「なぜ」でしょうか？
 1. 保証があるから
 2. 勇気を得ることができるから
 3. 生きる力を得ることができるから

* God bless you!